

8か月の発達の目安（個人差があります）

8か月児健康診査

はいはいやお座りなど運動面が活発になると同時に、人見知りが出てきて、親と周りの人との区別ができるようになります。相手の顔を見て反応を理解しようとするので、保護者の方はゆっくり話しかけたり、一緒にものを見たりしてあげましょう。

運動面

- ・ はいはいが上手にできる
- ・ おすわりで遊ぶ
- ・ 自分の足を顔の近くに持ち上げる
- ・ 親指・人差し指・中指でものをつまむ



こころ

- ・ 予測できる遊びを楽しみ、繰り返し遊ぶ
- ・ 人見知り、後追いがあがる
- ・ ママパパの存在を確認して遊ぶ
- ・ ことばかけに反応する

このようなことに困っていませんか？

★行動範囲が広がって危ないこといっぱい

→赤ちゃんは、見て・さわって・なめて、学んでいます。小さなものや電池・ボタン・薬などは誤って飲み込む危険があります。手の届く場所に置かないよう気をつけ、危険なこと以外は自由に体験させましょう。

★夜泣きが大変

→夜泣きは脳が発達する過程のひとつです。記憶ができるようになり日中の刺激を寝ている間に整理するため、夜泣きが起こります。経験を積み重ねることで、記憶を整理する力が付き、1歳前後くらいでおさまってきます。

おすすめのあそび

・ はいはい

筋肉やバランス感覚を育てる**全身運動**です。部屋を片づけて、はいはいをたくさんできる環境を作りましょう。苦手なときは、布団の段差をのぼったり、拍手や積み木あそびで両手を使う工夫もおすすめです。はいはいかくれんぼは、からだを動かしながら親子で笑顔になれる遊びです。

・ 手遊び(手たたき・ばんざいまねっこ)、ふれあい遊び(♪おすわりやっせ、♪このここのこ、♪ぞうきんぬいしましょ)

・ いないいないばあ、くすぐりやゆらゆら遊び

「あ、またくる！」**期待感**、「本当にそうだった！」**安心感**がこころの成長を促し、一緒に遊ぶ楽しさを知ることができます。繰り返し遊ぶ中で子どもの反応を待ってみることで、大人の動きに注目する力も育ちます。

・ 絵本の読み聞かせ

じっと見つめる、あーうーと話すことは**ことばのはじまり**です。子どもの真似をすることで、伝わる実感につながります。テレビ・スマホより、絵本の読み聞かせや話しかけがおすすめです。同じ本をくり返し読みましょう。

これからこのような成長をしていきます

10か月ごろ

はいはい・つかまり立ち



- ・ 親指と人差し指でつまむ
- ・ 自分から“マママ・ダダダ”と声を出す
- ・ 大人が指さしたものを一緒に見る
- ・ 名前を呼ぶと振り向き、相手の顔を見る
- ・ ダメが分かる

つたい歩き



- ・ 相手の顔や反応を見ながらボール遊び
- ・ バイバイ・バンザイなど身近な大人のまねをする
- ・ 相手の顔を見て、ほしいものを指さして伝える
- ・ おいで、ちょうだい、ねんねなど簡単な声掛けに応じることができる

1歳6か月ごろ

一人で歩ける



● 不安や悩み事などがあるときは、いつでも相談してください

城陽市こども家庭センター TEL : 55-1113